

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和5年3月15日

公表：令和 5年 5月 31日

事業所名 えがいの教室 新松戸南

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切に設置されていると感じている。（理解している）
	②	職員の配置数は適切であるか	○			同上
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			同上
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日ごろから危機管理に対する意識を共有するよう努力している。また、問題発生時には実際にPDCAサイクルの表へと事例を当てはめ、考察している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年のアンケート結果をもとにご指摘をいただいた部分についてさらなる改善に取り組んでいる。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年公開している。また、その内容もスタッフ全員で周知している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部有識者へ依頼をし、評価を受けてる。改善があれば考察も含めて再案している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			平日の午前中を利用して、「スキルアップ研修」を実施。テーマはその都度「課題」と感じていることを掲げ、研修を受けている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			半年ごとに保護者面談を実施。アセスメントシートをもとに作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内研修にて得たスキルと資料を基に応用行動分析を実施。全ご利用者の状況を確認している。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			個別支援計画書の作成は、「児童発達管理責任者」および、療育スタッフが関り、内容を共有している。そのうえで、スタッフの適材適所による支援を設定。計画書へも具体的に示している。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			ミーティング時には、当日のご利用者別支援内容を常に確認しながら支援にあたっている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			同上
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週単位・月単位での事前プログラムを立案しており、重複を防いでいる。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			活動プログラム構築時において、個別と集団での内容を組み合わせている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティング時には、当日のご利用者別支援内容を常に確認しながら支援にあたっている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			同上
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			「気づきハット」を毎回活用し、翌日への申し送りへとつなげている。パートスタッフからも「わかりやすい」と好評を得ている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとの面談時で更新できるよう整えている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			可能な範囲で、児童発達管理責任者が出席している。

関係機関や保護者との連携	②①	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関との連携は積極的にかつ定期的に実施。そこでの内容を反映させながら行っている。
	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在医的ケアを実施していない。
	②③	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	同上
	②④	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			相談支援員を交えながら情報交換は定期的を実施している。また、イレギュラーな事案についてもその都度報告し、情報交換をしている。
	②⑤	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			こちらから一方的に連絡をすることはないが、相談支援員や保護者様の了解を得て、確認させていただくことはある。また、問い合わせにも対応している。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			モニタリングや担当者会議を通して他事業所との連携を図っている。研修機会は今のところ行われていないが、実施される際には、受講したい。
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍以前でも安全性の問題から行われることはなかった。実施となると、環境や内容をしっかりと構築する必要があると感じている。
	②⑧	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	同上
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時には当日の様子をお伝えし、連絡帳でもメッセージを残せるようにしている。また、その内容については、スタッフ間で共有できるようミーティング時に報告している。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			心理面でのサポートが重要となることから、安易に実施はせず、精通したスタッフのみが対応している。
保護者への説明責任等	③⑪	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			初回面談時に口頭と文書にて説明を実施。わからない場合には、再度面談を設け補足をしている。
	③⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			半年ごとの面談時でその都度、同意をいただいている。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	コロナ禍以前は「保護者説明会」「夏祭り」「マルシェ」などを定期的に開催。交流を主な目的として実施していた。(再開を希望する声多数あり)
	③⑭	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	同上
	③⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご利用者同士のトラブルがあった場合、実際に双方の名前を知らせることはしていないが、お互いの思いを理解し、解決へと結びつくよう、最大の努力をしている。
	③⑯	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			日々のお便りは、必要性を感じるたびに発行している。今年度は、全国版のお便りを作成し、広く保護者の方々へも発信していく予定。
	③⑰	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			「持ち出さない」をテーマに進めている。記述する際にも個人名は隠し、当該者がわからないようにしている。
	③⑱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			各ご家庭の状況や発達段階に応じて、伝え方を工夫している。
	③⑲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍以前は「保護者説明会」「夏祭り」「マルシェ」などを定期的に開催。交流を主な目的として実施していた。(再開を希望する声多数あり)
	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			実際の冊子としての配布ではないが、「えがおの教室」で使用しているマニュアルを検索できるよう案内をしている。今後はホームページへも掲載予定。

非常時等の対応	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月一日にご利用者様を交えた「避難訓練」を実施。反復練習としてスタッフも加わりながら全員で行っている。
	④②	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		左記の状況についてもご契約時に聞き取りやアセスメントシート等の活用により把握をしている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		面談時に保護者の意向を伺い、その都度対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		良いことも記入できるように「気づきハット」として活用。毎日の振り返り時に記載している。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		市や県実施の「虐待防止研修」を含め、社内研修でも毎年研修を受けている。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		「身体拘束」の同意書をいただき、個別支援計画書へ記載。共通理解に努めている。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和5年3月15日

公表：令和 5年 5月 31日

事業所名 えがおの教室 松戸ハケ崎

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			比較的に広いスペースを確保できています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			日々の業務も適材適所で実施しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレの手すりは完備され、室内はフラットです。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			問題が起こるごとに「なぜ起きてしまったか」「どうすればよかったか」を振り返り、改善策を打ち出しています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年のアンケート結果は真摯に受け止め、その都度改善に向けた努力を実施しています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年公開し、スタッフ間でも共有をしています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会のメンバーへも定期的に助言を求めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に二回ほどの割合で社内研修を実施しています。テーマはその時のスタッフの困り感など現場の声を反映させています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			半年ごとに保護者面談を実施。その都度、保護者様の意見を伺いながら作成しています。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内研修での書類やオリジナルのツールを使用し、支援の質の向上に努めています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			この3年余り、地域との交流機会がほとんど持てず、かかり方については実際の感覚がわからないスタッフもいるので、再構築が必要かと思っています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			面談の中で聞き取りを十分に行い、計画書を作成しています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームでの立案は必須業務としてとらえています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			微細・粗大・余暇・創作など様々な分野での活動を取り入れて作成しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			その都度、現場のスタッフの意見も取り入れながら、ケースバイケースで実施しています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			他店舗とのズームミーティングを毎日実施。その中でも支援内容を共有しています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			「気づきハット」へ毎回気が付いたことを記入。他店舗との回覧も行っています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌や個々の個人記録表などを活用し、改善につなげています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			面談時に保護者の意向を伺い、その都度対応しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			毎回、児童発達管理責任者が出席できるよう勤務体制を整えています。

関係機関や保護者との連携	②①	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			子ども家庭相談課との連携を図りながら定期的に情報交換を実施しています。
	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	医的ケアが必要なご利用者の受け入れは現在行っておりません。
	②③	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	同上
	②④	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			担当者会議が開かれるようであれば、しかるべき担当者が出席し、情報の共有を図っています。
	②⑤	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			教育機関からの事前見学の受け入れ、子ども家庭相談課との連携を経て総合的に支援をしています。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			わからないことや困りごとがある場合、相談に乗ってくれる事業があり、助言を求めることができます。
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ禍での交流機会がなかったので、今後は積極的にかかわっていききたいと思います。
	②⑧	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	昨年度はコロナ禍という状況から、周囲とのかかわりを持つことの難しさが続いている。今後は積極的に参加していききたい。
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時やライン・連絡ノートを活用し、些細なことでも伝え合うようにしています。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者の方々からも子育てに関する相談をたくさんいただき、スタッフのスキルアップにもなっています。
	③⑪	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご利用開始時に資料をお見せしながら説明をしています。
	③⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			必ず「同意日」に署名・または捺印をいただき同意を得ています。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期面談以外でもスタッフの方から積極的にお声がけしながらコミュニケーションをとっています。
	③⑭	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ禍での交流機会がなかったので、今後は積極的にかかわっていききたいと思います。
	③⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			③⑬と同じだと思いますが、その都度誠意をもって対応させていただいております。
	③⑯	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			コロナ禍での対応や、新聞やニュースでの事故や事件を受け、「えがおの教室」としての対応策を発信しています。
	③⑰	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			「持ち出さない・見せない・話さない」を徹底しています。
	③⑱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			分かりやすく簡潔に伝えられるよう配慮しています。
保護者への説明責任等	③⑲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍以前は「マルシェ」や「作品展」を開催し、地域へ発信していましたので、再開していきたくです。
	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			実際の冊子としての配布ではありませんが、「えがおの教室」で使用しているマニュアルを検索できるよう案内をしています。今後はホームページへも掲載予定です。

非常時等の対応	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一日にご利用者様を交えた「避難訓練」を実施。反復練習としてスタッフも加わりながら全員で行っています。
	④②	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			左記の状況についてもご契約時に聞き取りやアセスメントシート等の活用により把握をしています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			面談時に保護者の意向を伺い、その都度対応しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			良いことも記入できるように「気づきハット」として活用。毎日の振り返り時に記載しています。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			市や県実施の「虐待防止研修」を含め、社内研修でも毎年研修を受けています。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			「身体拘束」の同意書をいただき、個別支援計画書へ記載。共通理解に努めています。